

花豆かんさつにつき | ページめ

札幌市博物館活動センター 2023年度 おうちミュージアム

日付:2023年5月13日(土曜日)

天気:晴れ 気温:23℃

場所:博物館活動センターの花壇



今日は、ミニ・ワークショップ「花豆のタネをまこう」でハナマメのタネをまいたよ!
まずはハナマメがどんな植物なのか、学芸員の解説を聞きました。



ハナマメのタネは、まさしく豆そのもの!
ここから芽が出て花が咲いて、たくさんの豆ができるなんて、なんだかふしぎ~!
紫と黒のまだら模様の豆が、赤い花を咲かせるベニバナインゲン、白い方が白い花を咲かせるシロバナインゲン。
※まき時は、5~6月。



山崎学芸員のまき方のお手本を見ながら、ふかふかの土の中にハナマメのタネをまきました。
穴の深さは8cmほど。



土をかけた後、ぎゅっぎゅっと押すのがタネまきの基本ポイント!

タネと土がくっつくようにすることで、うまく芽が出やすくなるよ。



たまにカラスやハトがタネを掘り返して食べてしまうそう……。

まわりに鳥がいないか確認しつつ、任務完了!

芽が出るまでは1週間ぐらいかかるよ。それまでスタッフがこまめに水やりをするよ。

最後に、参加者のみなさんにメッセージカードを書いてもらいました!

看板にして花壇に立てたので、観察する際はぜひみてね!

※ベニバナインゲンとシロバナインゲン: 同じハナマメでも色の違いで呼び分けているよ。

藍(アイ)

ハナマメと一緒に、藍(アイ)のタネもまきました。タデアイとも言い、藍染めの原料です。

「藍染め」は、アイの青系の色素(色のもとになるもの)を使って、布や糸を染めることだよ!



まずはアイの歴史について勉強中……。

明治時代に、札幌でアイの栽培に挑戦した人たちがいたんだよ!

今も「あいの里」の地名として残されています。



去年(2022年)に育てたアイからとったタネ。



土に指でミゾを付けて「すじまき」にしたよ。

※パンフレットは北区役所から提供いただきました。

アイについては、北区のホームページに詳しく載っています。ぜひご覧ください!